

# 教 養 問 題

平成23年6月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

## 注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は全部で40題あり、ページ数は43ページです。
3. 解答時間は2時間です。
4. 解答方法は次のとおりです。

例〔No. 1〕日本の首都として、正しいのはどれか。

1. 京都    2. 福岡    3. 東京    4. 大阪    5. 広島

正答は「3. 東京」ですから解答用紙の問題番号の次に並んでいる  
マーク欄 ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を鉛筆又はシャープ  
ペンシルで ● のようにマークして ① ② ● ④ ⑤ とす  
れば正解になります。

5. 各問題とも、正答は1つだけです。2つ以上マークした場合は誤りとなります。
6. 解答に当たっては、解答用紙に記載された注意をよく読んでください。
7. 計算を要する場合は、この冊子の余白を利用してください。解答用紙は絶対に使ってはいけません。
8. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。

[No. 1] 次の文章で述べられていることとして、最も妥当なのはどれか。

ルソーの著作『エミール』のなかに、「子どもにふさわしい唯一の道徳的教訓は、けっして誰にも害を与えてはいけないということだ」という有名な言葉がある。「誰にも害を与えない」、あるいは害を与えないよう行動する、これはひじょうに難しい。「与えない」というのは消極的な言い方であって、いわば消極的な教訓だ。他の人に親切にしようとか、なにか良いことをやろう、という積極的な教訓ではない。しかし、そういう積極的な教訓よりも、消極的な教訓の方がもっと大切で難しい、とルソーは言う。なぜか。

この教訓をほんとうに実行するには、自分のまわりの人々に及ぼす影響、結果について、十分な見通しをもたないといけないからだ。ただ衝動的にとか、自分の利益だけ考えて、というのでは、害を与えないという目的に反した行動になりがちだからである。子どもたちにもぜひこのことを教えたい。周囲に及ぼす影響が理解できつつある段階で、結果のことを意識し予想しながら行為をする、ということだ。それは、他人の気持ちがわかるということにつながっている。またそれは、モラリティ形成に向けての大きな一歩でもある。

そのうえで、選択肢がたくさんある場合どれを選ぶか、なにがいちばん正しいかを、自分で追求させることが必要になってくる。たとえば、今から宿題をやるのと、テレビを見るのと、外で友だちと遊ぶのと、どれがいちばんいいだろうか。あるいは困っている友だちを見て、助けた方がいいかどうか、親に指示された仕事をやった方がいいかどうか。子どもなりの葛藤<sup>かつとう</sup>やジレンマが日常生活のなかで発生する。これは絶好の機会だ。さまざまな選択肢があるときに、子ども自身にじっくり考えさせる。いろいろな条件のもとで、自分の頭で考えて、なにが良いか悪いかを判断し決定するようにさせる。

子どもにこれが最初からうまくできるわけではないし、正しい結論を出せるわけでもない。親も教師も、あせらないでじっと見守ってあげる必要がある。子ども自身の自主的な判断や決定を受けとめて、それを尊重する。そういう自主的な判断や決定が子どもに許されている、十分にその余地がある、ということが重要だ。その種の自由な場や雰囲気があれば、自分の行為がまわりの人に迷惑をかけてしまったとか、身近な仲間を傷つける結果になってしまったときには、子どもは子どもなり

に責任を感じるものだ。行為の責任をとらなくては、という気持ちになる。自分で考えてやったことだから、その結果に責任をもとう、責任をひきうけなくては、と理解する。これこそほんとうのモラリティとっていい。まさにモラルのもつ自主性、主体性の側面だ。

(種村完司「コミュニケーションと関係の倫理」による)

1. ルソーが子どもに対する道徳的教訓の重要性を説いているのは、モラリティの形成は子ども時代にしか形成することができないと考えているからである。
2. 消極的教訓が積極的教訓より実行困難なのは、自分の周囲の人々に及ぼす影響が理解できない段階で、十分な見通しをもたなければいけないからである。
3. 日常生活上での葛藤やジレンマの発生は、子どもが自分で善悪を判断し、自分で考えた上で決定を行う絶好の機会である。
4. 子どもが大人よりも葛藤やジレンマを感じることは少ないのは、子どもは大人と比べ人生経験が浅く、既成概念が少ないからである。
5. 親や教師は、子どもが他人に迷惑をかけないように、子どもが判断し決定する際、善悪の判断が容易でない子どもにも分かるよう助言することが重要である。

〔No. 2〕 次の文章で述べられていることとして、最も妥当なのはどれか。

おのずと見えてくるものなどという、積極的、意識的に見ることにくらべて、受動的、消極的な態度だと思える人もいるだろう。しかし実際には、意識的にものを見ようとすると、かえって、見ようと思ったその角度だけから一義的にしかものを見ることができない。もっといえば、そのとき、見られるものは冷ややかに対象化されて、一義的でしかないものになる。それに対して、おのずと見えてくるとは、私たちが心を開いて自然や外界（人間や出来事をも含めて）に接するとき、つまり視覚の独走にまかせずに五感のすべてを生かして共通感覚的に接するときに、ものが豊かな多義性をもってあらわれることなのである。

そしてこの場合、実は、私たちの身体＝精神は一方的に受動的なのでは決してなく、想像力——これは昔から共通感覚に相応ずるものと見なされている——の働きによる自然や外界への問いかけが、すでに行なわれている。そのような私たちの身体＝精神と自然や外界との交感・対話のうちに、ものが豊かな多義性をもって、おのずと見えてくるのである。このように意識的に無理にもものを見ようとせず、おのずと見えてくるようなかたちで接することなくしてはものが豊かな多義性をもって姿をあらわさないということは、なにも現実の旅についてだけいえるのではない。それは〈知の旅〉あるいは〈知の探索〉においても、まったく同様にいえるのである。

〈知の探索〉において折角多くのものを見、沢山の書物を読みながら、硬直した見方や概念的な見方に囚われているために、対象のもつ豊かな問題性を貧しく平板なものにしてしまう人たちが少なくない。硬直した見方、概念的な見方によって対象に接するとき、対象は豊かな多義性をもあらわさなければ、問題として動き出したり躍動したりすることもない。そこでは対象＝問題は、ただ単にいわば剥製として標本化され分類されているにすぎないのだ。学問の名において、また科学の名においてそうした在り様がしばしば一般化した。そのために、〈知の探索〉が人々に、どんなに無味乾燥なものと思われるようになったことか。

そのことは、知の探索において、ただ多くのものを見、多くの書物を読めばいいのではなく、どのようにものを見、どのように書物を読むかという、対象についての読解（知覚を含めた）の在り様にもかかわり、したがって次にここに、その在り様そのものが大きく問われることになる。硬直した見方、一定の価値判断に囚われ

た見方を排して事象そのものへと迫ろうとする〈現象学〉をはじめ、あらゆるものやことを記号としてそれが表わす意味作用を読みとろうとする〈記号学〉、また、すべての言説をその概念的意味だけではなく能記（記号表現）を重視して、多義的なものとして捉えようとする〈テキスト読解の理論〉などが、近年いよいよ重視されるようになったのは、そのためである。

ところが、それらの方法や理論にしても、十分に使いこなされて対象＝問題のもつ豊かな多義性への解明に役立てられず、方法のための方法、理論のための理論にとどまることがあまりにも多い。なぜだろうか。思うにそれは、誤った視覚の立場、概念の立場から自由になっていないため、脱皮していないためであろう。おのずとものが見えてくるような対象への接し方が身につけられていないためであろう。おのずとものが見えてくるという在り方は、日頃の訓練によって身につけられるけれど、それがなにかの偶然あるいはチャンスの折に力を発揮するのである。

（中村雄二郎・山口昌男「知の旅への誘い」による）

1. おのずと見えてくるとは、見られるものを冷ややかに対象化しながら視覚の独走にまかせて見ることである。
2. 意識的にものを見ようとすることは、想像力の働きにより自然や外界に問いかけることであり、ものが豊かな多義性をもってあらわれてくる。
3. 〈知の探索〉では、現実の旅と同様に意識的にものを見ることで、概念的な見方を排除することができる。
4. 多くの書物を読むことで一定の価値判断に囚われた見方を排除することができ、無味乾燥な〈知の探索〉が豊かなものになる。
5. 五感のすべてを生かして共通感覚的に対象に接することで、記号学やテキスト読解の理論は、対象＝問題のもつ豊かな多義性への解明に役立てられる。

〔No. 3〕 次の文につながるようA～Fを並べかえて一つのまとまった文章にする場合、最も妥当なのはどれか。

精神分析は文化事象を症状の<sup>ひゆ</sup>比喩で考えることが多い。

- A それゆえ、心の奥に秘められた一次的内容を明らかにするという精神分析の試みのなかでは、防衛を緩めて、隠されたものを言葉にする「覆いをとる」(uncovering)という技法的側面がとくに際立っていたといえよう。
- B ところが精神分析では、それは再び防衛の産物であり、人間の内奥の現実をごまかし、ありのままの(裸の、素顔の)真実を<sup>いんぺい</sup>隠蔽する役割のため、防衛とその派生物は比較のおとしめられた地位を与えられてきたと思う。
- C つまり、抑圧された無意識の内容物が、置き換えなどの象徴形成の過程を経て歪曲され、社会的に共有された文化事象となるという理解である。
- D 一方、居場所を得て生き残るために適応という課題をこなす人々は、外的な危機を回避しようとするとき、この居場所を取り囲む風土や時代は無視できないわけで、個々の生き残りの方法はそれぞれの外的現実の影響を受ける。
- E それで、寒い現実から内なる身を守る服のように、外と内との間に介在する文化的な事物は計り知れないくらい貴重なものとなる。
- F ゆえに、一次過程に対する二次過程のように、心の奥底にあるエス(指し示すときは「それ」とか「あれ」とか言うしかない自分のこと)が一次的(第一)であるのに対し、文化の産物は二次的、三次的な妥協の産物であった。

(北山修「幻滅論」による)

1. A - E - F - B - D - C
2. A - B - E - C - F - D
3. C - F - A - D - E - B
4. C - A - B - D - E - F
5. C - E - B - A - D - F

[No. 4] 次の文章の空欄A～Cにあてはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

ある人の被る仮面は、つねにいかほどか、(他者の仮面との同一性を重んじるという意味で) 集団的であり、また(他者の前での演技のためのものという意味で) 公共的である。しかしもちろん、その被り方においては、仮面は(自己を差異化させているという意味で) 個人的であり、(自己を人前から隠すという意味で) 私人的である。人格はこのような四面性を備えており、それゆえ人格の向上というもの、この四面構造における [ A ] 状態のことを抜きにしては考えられないのである。

ところが大衆人は人格において [ A ] を喪失することにみずからの「 [ B ] 」を見出し、その [ B ] に従って生きるのが「自由」だと感じている。少なくともそうなのだと思います。彼の振る舞い方にあって目立つのは、一方で(個人的にして私人的な)「情動性」を剥き出しにしつつ、他方で(集団的にして公共的な)「 [ C ] 性」をあらわにする点だ。それはたとえば大衆の「世論」をみれば明らかである。世論形成にあずかるマスメディアは、大衆人の情動を煽るように、しかし大衆の行動を [ C ] 化するよう励んでいるのだ。実際、ムードイかつステレオタイプな言辞によって組み立てられていないような世論に出会うのは、ごく稀である。

(西部邁「虚無の構造」による)

- |    | A  | B  | C  |
|----|----|----|----|
| 1. | 膠着 | 価値 | 多元 |
| 2. | 膠着 | 個性 | 多元 |
| 3. | 膠着 | 個性 | 定型 |
| 4. | 平衡 | 価値 | 多元 |
| 5. | 平衡 | 個性 | 定型 |

[No. 5] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Obviously, government is a vital part of society. First and foremost\*, it does nothing less than protect us all from the insidious\* and persistent challenges to national security that are with us now and for the foreseeable future. But government provides much more: the justice system, education, police and fire protection, highways and ports, welfare and hospitals. The list could go on and on.

But even with the virtues of government, it is critical to remember that all of its services come from some form of tax revenue. Government makes no money of its own. And in that way, government is the support for the engine of the economy, it is not the engine itself.

Winning companies and the people who work for them are the engine of a healthy economy, and in providing the revenues for government, they are the foundation of a free and democratic society.

That's why winning is great.

Now, it goes without saying that you have to win the right way — cleanly and by the rules. That's a given. Companies and people that don't compete fairly don't deserve to win, and thanks to well-honed\* internal company processes and government regulatory\* agencies, the bad guys are usually found and kicked out of the game.

(Jack Welch with Suzy Welch 「WINNING」による)

\* foremost・・・真っ先に      \* insidious・・・油断のならない

\* well-honed・・・研ぎ澄まされた      \* regulatory・・・取り締まる

1. 政府は、国家の安全保障を担うことを何よりも優先させなければならない、政府が提供するサービスのうち企業ができることは企業に任せたほうがよい。
2. 政府は、税金を使ってサービスを提供しており、経済のエンジンそのものではなく、経済のエンジンを補助するものである。
3. 会社は、ビジネスで勝つために効率的な経営を心がける必要があるが、政府は、競争相手がいないため、非効率な組織になりやすい。
4. 会社は、規則にのっとった正しい方法で経営されなければならない、風紀を乱す社員を取り締まる社内規定の整備を政府から要請されている。
5. 会社は、ビジネスで勝ち続けなければならない、経営不振に陥り、勝つことができない会社はゲームから放り出されることとなる。

[No. 6] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Our venetian blinds\* were different colours. One day - it was raining - I realised that there was a pattern. The bottom one was yellow, the one next was light blue, then pink, then red. Then yellow again. The top one was blue. The frame at the top was white. So was the cord. I lay on the floor with my feet towards the window and counted the slats\*, faster and faster.

There were lots of venetian blinds in Barrytown but we were the only ones I knew that had them in the back of the house as well as the front. Me and Kevin went around all the houses and there were seventeen blinds in the front windows that were crooked\*. There were fifty-four houses in Barrytown, not counting the new Corporation ones and the other ones that were just finished and had no one in them yet. We went around again; eleven of the seventeen were crooked on the left side. The blinds came down to the window ledge\* on the right but were stuck about five slats up on the left. Worst was the Kellys' with ten slats. We could see Missis Kelly in the front room doing nothing. O'Connell's weren't only crooked, they were buckled\*; not Mister O'Connell's bedroom ones upstairs - they were perfect, and closed - the front-room ones, the room we played in. Only twenty houses didn't have blinds.

(Roddy Doyle 「Paddy Clarke Ha Ha Ha」による)

\* venetian blind……ベネチアンブラインド (ひもで板を開閉・上下するブラインド)

\* slat…… (ブラインドなどの) スラット、小割板

\* crooked……曲がっている      \* ledge…… (窓から突き出た) 棚

\* buckle……ゆがむ

1. 私の家のベネチアンブラインドのブラットは、1枚ずつ違う色がついており、紐にも同じように複数の色がついている。
2. 私は、雨が降る日、窓に向かって椅子に座り、ベネチアンブラインドのブラットの色を数えた。
3. 私の知る限り、バリータウンで、家の表側だけでなく、裏側にもベネチアンブラインドがつけられているのは、私の家だけである。
4. バリータウンには、市営住宅と建てられたばかりでまだ誰も住んでいない住宅とを含めて54軒の家がある。
5. オコンネルさんの家のブラインドのブラットは、全部曲がっていたので、家の中でケリーさんが座っている姿まで見えた。

[No. 7] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Complaining about yourself is a useless activity, and one which keeps you from effectively living your life. It encourages self-pity and immobilizes\* you in your efforts at giving and receiving love. Moreover it reduces your opportunities for improved love relationships and increased social intercourse. While it may get you attention, the noticing will be done in a light that will clearly cast shadows on your own happiness.

Being able to accept yourself without complaint involves an understanding of both self-love and the complaining process, which are mutually exclusive terms. If you genuinely love you, then complaining to others who can do nothing for you becomes absurdly impossible to defend. And if you notice things in yourself (and others) that you dislike, rather than complaining you can actively set about taking the necessary corrective steps.

The next time you are at a social gathering of four or more couples, you can try this little exercise. Chronicle\* how much conversation is actually spent in complaining. From self to others, to events, prices, the weather, and on and on. Now, when the party is over and everyone has gone their separate ways, ask yourself, "How much of the complaining that went on tonight accomplished anything?" "Who really cares about all of the things that we bemoaned\* tonight?" Then, the next time you are about to complain keep the uselessness of that night in mind.

(Dr. Wayne W. Dyer 「YOUR ERRONEOUS ZONES」による)

\* immobilize・・・固定する      \* chronicle・・・記録にとどめる

\* bemoan・・・嘆く

1. 自分自身のことについて愚痴をこぼすのは一見無駄に思われるが、愚痴をこぼすことは効果的な生き方のためには必要である。
2. 愚痴をこぼすことで、他人からの注目を集めることができ、他人の視線が注がれることにより、多少の幸福を実感することができる。
3. 愚痴をこぼさずに自分自身を受け入れられるようになるには、自己愛と愚痴という互いに成立し得ない双方を理解することが必要である。
4. 自分自身そして他人の嫌いな点に気づいたら、嫌いな点を直すのに必要な措置をとれるよう、積極的に愚痴をこぼすことはよいことである。
5. 人々は社交的な集まりの場で愚痴をこぼすことはないので、社交的な集まりに参加した際、人々が決して愚痴をこぼさないことを確認してみるとよい。

[No. 8] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Life not only formed the soil, but other living things of incredible abundance\* and diversity now exist within it; if this were not so the soil would be a dead and sterile\* thing. By their presence and by their activities the myriad\* organisms of the soil make it capable of supporting the earth's green mantle\*.

The soil exists in a state of constant change, taking part in cycles that have no beginning and no end. New materials are constantly being contributed as rocks disintegrate, as organic matter decays and as nitrogen\* and other gases are brought down in rain from the skies. At the same time other materials are being taken away, borrowed for temporary use by living creatures. Subtle and vastly\* important chemical changes are constantly in progress, converting elements derived from air and water into forms suitable for use by plants. In all these changes living organisms are active agents.

There are few studies more fascinating, and at the same time more neglected, than those of the teeming\* populations that exist in the dark realms of the soil. We know too little of the threads that bind the soil organisms to each other and to their world, and to the world above.

(Rachel Carson 「SILENT SPRING」による)

- \* abundance……多数
- \* sterile……不毛の
- \* myriad……無数の
- \* mantle……マント
- \* nitrogen……窒素
- \* vastly……はるかに
- \* teeming……うようよするほどの

1. 土壤に多数の有害な生物が住みついていると、土壤は不毛となり死に果ててしまうことがある。
2. 土壤は始まりも終わりもない循環の過程に組み込まれることなく、独自に変化し続けている。
3. 絶えず岩石を崩壊させる新しい物質が出てくるかと思うと、一時だけ生物に利用されて消えていく物質もある。
4. 真っ暗な土壤の中にいる、うようよするほどの数の生物については、多くの学者に研究されている。
5. 土壤の中にいる小さな生物と土壤の世界、そして土壤の変化が地表の世界に及ぼす影響については、十分よく知られている。

[No. 9] ある球場で行われた社会人野球のAチームとBチームとの試合における観客300人について、次のア～オのことが分かっている。

ア 観客はAチーム又はBチームのいずれかを応援しており、Aチームを応援した観客は137人であった。

イ 男性の観客は205人であり、このうち大人は172人であった。

ウ 女性の観客のうち子供は15人であった。

エ Aチームを応援した男性の大人は82人であり、Bチームを応援した男性の子供より64人多かった。

オ Bチームを応援した女性のうち大人は子供より35人多かった。

以上から判断して、Aチームを応援した女性の大人の人数として、正しいのはどれか。

1. 31人
2. 32人
3. 33人
4. 34人
5. 35人

[No. 10] A～Fの6チームが、総当たり戦方式でラグビーの試合を行い、勝数により優勝を競ったところ、結果は次のア～カのとおりであった。

ア Aチームは、優勝チームに勝っていれば優勝できた。

イ Bチームは、優勝チームに勝ったが負け越した。

ウ Cチームは、Aチームに勝ち3勝2敗であった。

エ Dチームは、全敗した。

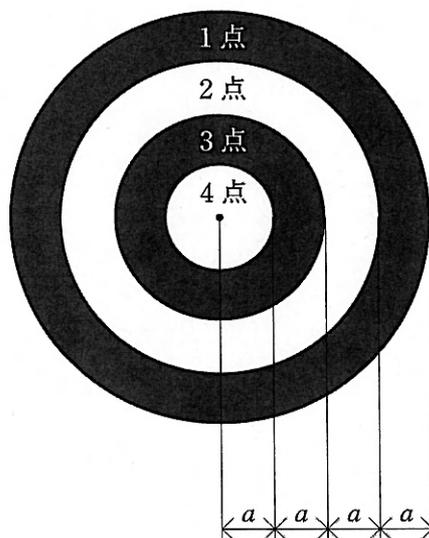
オ Eチームは、Bチームに勝ったがFチームに負けた。

カ 引き分けの試合はなかった。

以上から判断して、確実にいえるのはどれか。

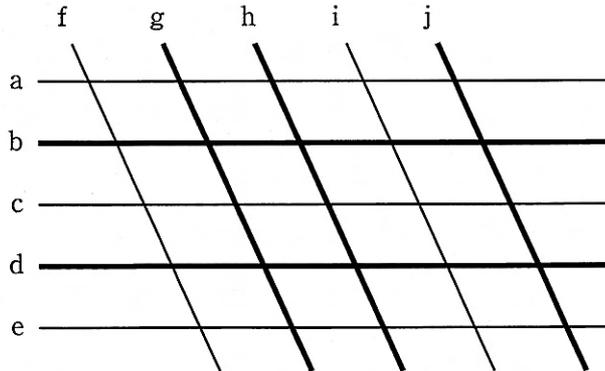
1. AチームはBチームに負け、2位だった。
2. BチームはFチームに勝ち、5位だった。
3. CチームはEチームに勝ち、2位だった。
4. EチームはAチームに負け、5位だった。
5. FチームはCチームに負け、優勝した。

[No. 11] 下図のように、円の中心点から4つの均等な幅  $a$  で構成された的があり、矢が当たったときに得られる点数として、1点～4点の部分が表示されている。この的に矢を2本射るとき、得られる点数の合計が5点になる確率として、正しいのはどれか。ただし、矢は的のいずれかの点数の部分に垂直に当たり、的からはずれることはない。



1.  $\frac{3}{16}$
2.  $\frac{5}{32}$
3.  $\frac{9}{64}$
4.  $\frac{11}{64}$
5.  $\frac{13}{64}$

[No. 12] 下図のように、5本の平行な線a～eが、他の5本の平行な線f～jと交差しており、これらの線のうちa、c、e、f、iは細線、b、d、g、h、jは太線である。これらの平行な線を組み合わせてできる平行四辺形のうち、少なくとも一辺が細線である平行四辺形の総数として、正しいのはどれか。

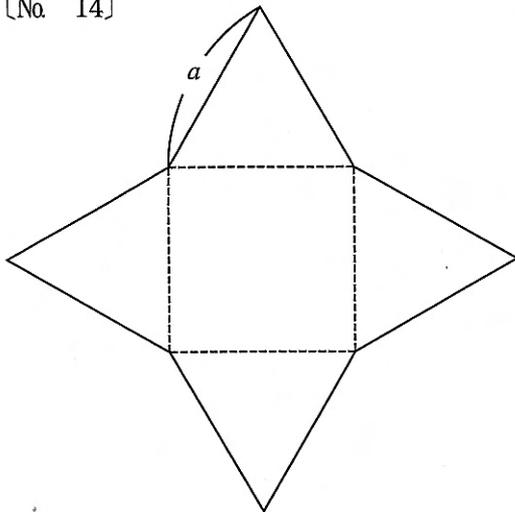


1. 97
2. 98
3. 99
4. 100
5. 101

[No. 13] 各位の数字がそれぞれ異なる3桁の正の整数があり、各位の数字の和は14である。また、数字の並び順を逆にした整数は元の整数より693大きくなる。このような整数の個数として、正しいのはどれか。

1. 2
2. 3
3. 4
4. 5
5. 6

[No. 14]



左図のような一辺の長さ  $a$  の正三角形と一辺の長さ  $a$  の正方形からなる紙片がある。この紙片を破線で谷折りにしてできる四角<sup>すい</sup>錐の体積として、正しいのはどれか。

1.  $\frac{\sqrt{2}}{3} a^3$
2.  $\frac{\sqrt{2}}{6} a^3$
3.  $\frac{\sqrt{3}}{6} a^3$
4.  $\frac{\sqrt{2}}{9} a^3$
5.  $\frac{\sqrt{3}}{9} a^3$

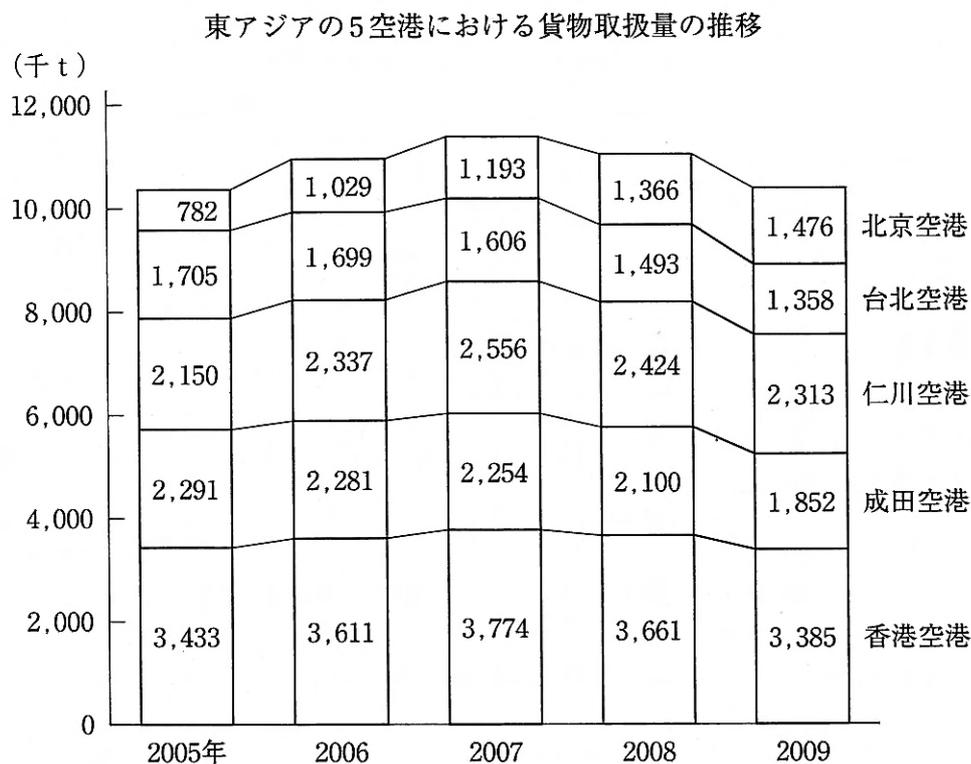
[No. 15] ある作業を、正社員とアルバイトとの2人で共同して行くと、正社員1人だけで行うより4日早く終了し、アルバイト1人だけで行うより9日早く終了する。この作業をアルバイト1人だけで行う場合の所要日数として、正しいのはどれか。ただし、正社員、アルバイトの1日当たりの作業量はそれぞれ一定である。

1. 13日
2. 14日
3. 15日
4. 16日
5. 17日

[No. 16] 等比数列の連続した項である整数  $a$ 、 $b$ 、 $c$  があり、これら3つの整数の和は26、積は216である。このとき、 $c - b - a$  の値として、正しいのはどれか。ただし、整数の大きさは  $a < b < c$  である。

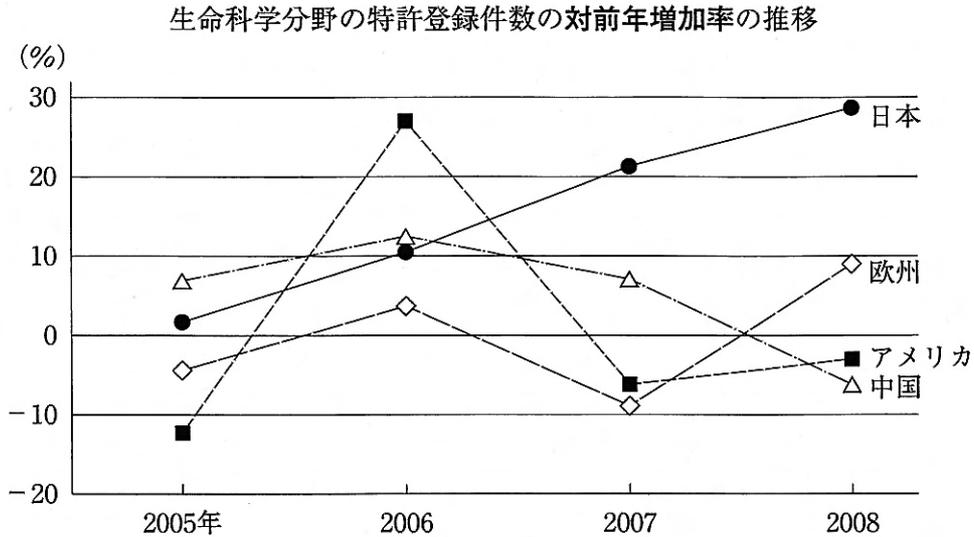
1. 6
2. 7
3. 8
4. 9
5. 10

[No. 17] 次の図から正しくいえるのはどれか。



1. 香港空港と仁川空港の貨物取扱量の差についてみると、2005年から2007年までの各年は、いずれの年も1,250千 tを上回っている。
2. 成田空港と台北空港の貨物取扱量の計についてみると、2006年を100としたとき、2008年の指数は85を下回っている。
3. 2007年についてみると、貨物取扱量の対前年増加率が最も大きいのは仁川空港であり、次に大きいのは北京空港である。
4. 2007年から2009年までについてみると、台北空港の貨物取扱量の3か年の累計は北京空港の貨物取扱量の3か年の累計を500千 t以上、上回っている。
5. 2008年についてみると、香港空港の貨物取扱量に対する成田空港の貨物取扱量の比率は0.65を下回っている。

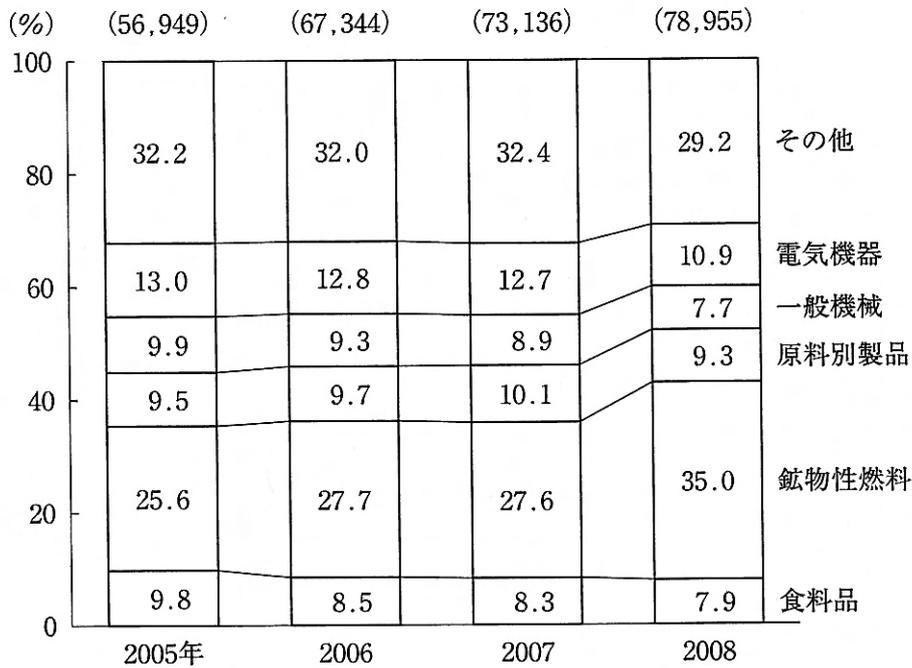
[No. 18] 次の図から正しくいえるのはどれか。



1. 2005年から2007年までのうち、中国の生命科学分野の特許登録件数に対する日本の生命科学分野の特許登録件数の比率が2004年より大きいのは、2007年だけである。
2. 2005年から2008年までのうち、中国の生命科学分野の特許登録件数が最も多いのは2006年であり、最も少ないのは2008年である。
3. 2005年から2008年までの各年についてみると、欧州の生命科学分野の特許登録件数が前年に比べて増加した年は、いずれの年もアメリカの生命科学分野の特許登録件数は前年に比べて増加している。
4. 2006年における日本の生命科学分野の特許登録件数を100としたとき、2008年における日本の生命科学分野の特許登録件数の指数は160を上回っている。
5. 2008年における欧州の生命科学分野の特許登録件数は、2005年における欧州の生命科学分野の特許登録件数より減少している。

〔No. 19〕 次の図から正しくいえるのはどれか。

わが国における商品別輸入額の構成比の推移



(注) ( ) 内の数値は、輸入額の合計(単位：10億円)を示す。

1. 食料品の輸入額についてみると、2005年から2008年までのうち、最も多いのは2008年であり、最も少ないのは2005年である。
2. 鉱物性燃料の輸入額についてみると、2006年を100としたとき、2008年の指数は160を上回っている。
3. 2005年から2007年までの各年の商品別輸入額についてみると、いずれの年も電気機器は原料別製品を2兆1,000億円以上、上回っている。
4. 2006年から2008年までの一般機械の輸入額の3か年の累計は、18兆円を下回っている。
5. 2008年における一般機械と電気機器の輸入額の計は、2007年における一般機械と電気機器の輸入額の計を上回っている。

〔No. 20〕 次の図表から正しくいえるのはどれか。

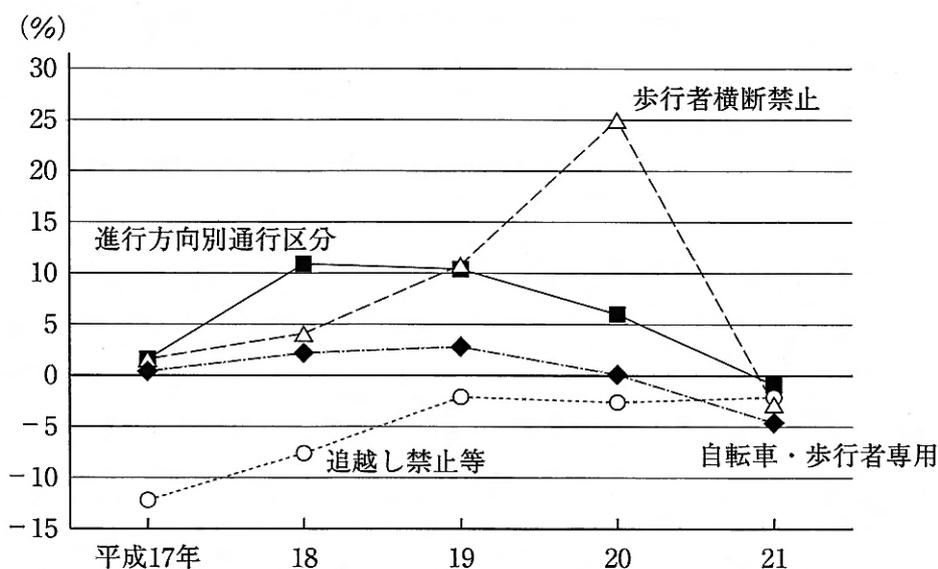
### 東京都における4区分の交通標識設置数の状況

区分別標識設置数（平成16年）

（単位：枚）

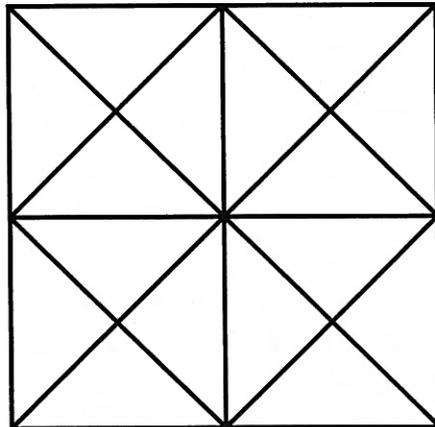
区分	自転車・歩行者専用	歩行者横断禁止	追越し禁止等	進行方向別通行区分
設置数	69,393	12,028	14,916	1,849

区分別標識設置数の対前年増加率の推移



- 平成16年の進行方向別通行区分の標識設置数を100としたとき、19年の進行方向別通行区分の標識設置数の指数は、130を上回っている。
- 平成17年から21年までのうち、歩行者横断禁止の標識設置数が最も多いのは20年であり、最も少ないのは21年である。
- 平成18年における自転車・歩行者専用の標識設置数と追越し禁止等の標識設置数との計は、81,000枚を下回っている。
- 平成18年から20年までの3か年における自転車・歩行者専用の標識設置数の累計は、210,000枚を上回っている。
- 平成19年の標識設置数を区分別にみると、歩行者横断禁止は追越し禁止等を3,000枚以上、上回っている。

[No. 21] 下図の中にある三角形の数として、正しいのはどれか。

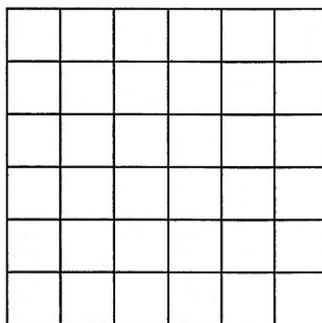


1. 32
2. 36
3. 40
4. 44
5. 48

[No. 22] 図Iのように、表裏にそれぞれ同じ大きさの36個の正方形のマスを描き、表の各マスに1~36の数字を1つずつ記した正方形の紙がある。この紙を図II~図IVの順に破線を谷にして3回折り畳んだ後、図Vに示す斜線部分を切り取り、図VIの状態になった。このとき、切り取った紙片に記された数字の和として、正しいのはどれか。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36

表

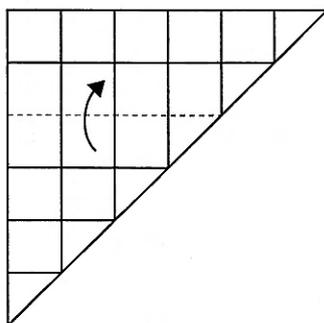


裏

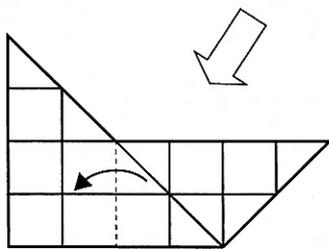
図I

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36

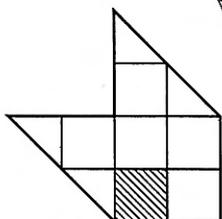
図II



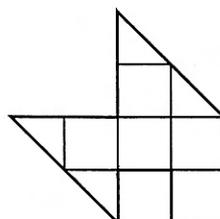
図III



図IV



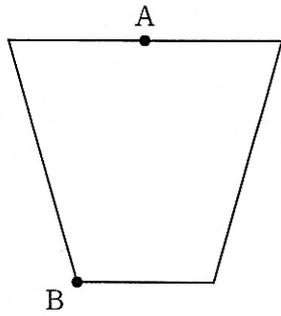
図V



図VI

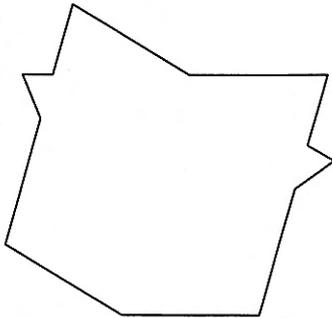
1. 130
2. 132
3. 134
4. 136
5. 138

[No. 23]

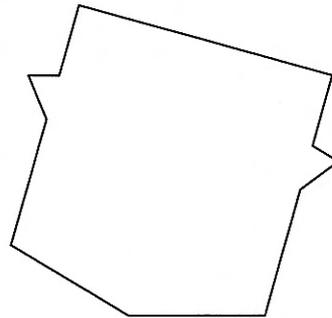


左図のような上底の長さが下底の長さの2倍である台形を、上底の中点Aと下底の頂点Bとを結ぶ直線ABを軸として回転させてできた立体に、直線ABと垂直な方向から光を当てた。このとき、光と垂直な平面に映った立体の影の輪郭を表す図として、妥当なのはどれか。

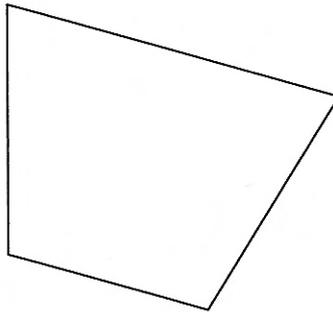
1.



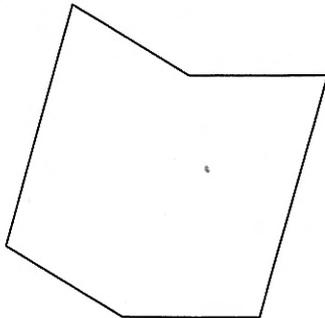
2.



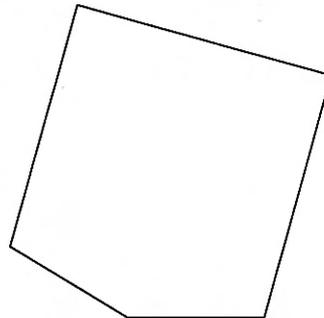
3.



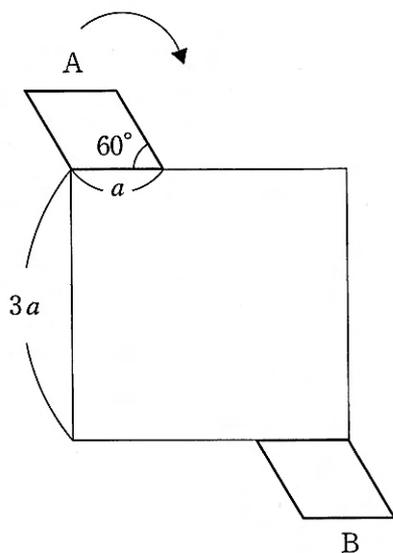
4.



5.



[No. 24] 下図のように、一辺の長さ  $a$  のひし形が、Aの位置から一辺の長さ  $3a$  の正方形の辺に接しながら、滑ることなく矢印の方向に回転する。このひし形が1秒当たり  $30^\circ$  回転するとき、初めてBの位置にくるまでに要する時間として、正しいのはどれか。



1. 21秒
2. 22秒
3. 23秒
4. 24秒
5. 25秒

[No. 25] 第二次世界大戦後のわが国に対する連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の政策に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. GHQは、日本占領と同時に、治安維持法や特別高等警察の廃止を指令するとともに官公庁から共産党員を追放するレッドパージを行った。
2. GHQは、憲法問題調査委員会の改正案が民主化を急ぎすぎるとし、マッカーサー草案どおりの憲法制定を指示して日本側による修正を行わせなかった。
3. GHQは、国民生活の改善を図るため、傾斜生産方式により、資材・資金を石炭・鉄鋼産業部門から食料部門に集中して振り向けるよう指示した。
4. GHQは、日本経済復興のために経済安定九原則の実行を指令し、来日したドッジは政府に超均衡予算を編成させた。
5. GHQは、日本が再び軍国主義化することをおそれ、日本政府が強く求めていた警察予備隊の設立を日本に対する占領が終了するまで認めなかった。

[No. 26] ロシア連邦に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ロシア連邦は、ウラル山脈によってヨーロッパとアジアとに分かれており、ウラル山脈の西側にはヴォルガ川が流れている。
2. ロシア連邦は、北極海沿岸の地域はタイガとよばれる針葉樹林で覆われているが、その南側の国土の大部分はツンドラ地帯である。
3. ロシア連邦は、ロシア人、タタール人、ウクライナ人など多数の民族からなる多民族国家であり、人口の約8割を占めるロシア人は、ゲルマン系民族に属し、主な宗教はイスラム教である。
4. ロシア連邦では、石油や天然ガスなどの地下資源の開発が進められ、シベリア・極東地域を除き、石油や天然ガスのパイプラインが敷設されている。
5. ロシア連邦では、企業や組合、個人による農業経営を行うことができず、ソビエト連邦時代の集団農場であるコルホーズ及び国営農場であるソフホーズとよばれる組織が存続している。

〔No. 27〕 諸子百家の思想に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 老子は、儒家の祖であり、政治とは世の中の乱れを正すことであるとし、不正を正すためには為政者が自分の身を正し、己の道徳性によって民衆を感化することが重要であるとする「徳知主義」を説いた。
2. 孟子は、儒家の一人であり、「性善説」を唱え、人間が生まれながらにもっている性質は善であり、人の心には「惻隠の心」、「羞<sup>そくいん</sup>惡の心」、「辞讓の心」、「是非の心」の4つが備わっていると説いた。
3. 莊子は、道家の祖であり、「無為自然」を唱え、世間の価値観にとらわれず、万物の根源である「道」にしたがって、自然のままに生きるべきと説いた。
4. 墨子は、墨家の祖であり、「性悪説」を唱え、人の本性は悪であり、これを矯正して善に導くための手段として、規範としての「礼」を説いた。
5. 荀子は、法家の一人であり、家族愛や愛国心を越えた無差別の人類愛である「兼愛」や反戦思想である「非攻」を説いた。

〔No. 28〕 憲法に定める天皇に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 天皇は、日本国の象徴であり、天皇の地位は、主権者である国民と切り離されたもので、日本国民の総意に基づくものではない。
2. 天皇は、国会の指名に基づいて、内閣総理大臣を任命し、内閣の指名に基づいて、最高裁判所の長たる裁判官を任命する。
3. 天皇は、憲法の定める国事に関する行為のみを行い、国政に関する権能を有しないため、国会を召集することはできない。
4. 天皇の国事に関する行為には、内閣の助言と承認を必要とするものと必要としないものがある。
5. 天皇の国事に関する行為は、天皇自ら行わなければならない、摂政に国事に関する行為を行わせる制度は認められていない。

〔No. 29〕 表現の自由に関する最高裁判所の判例についての記述として、妥当なのはどれか。

1. 博多駅テレビフィルム提出命令事件では、報道機関の報道は、民主主義社会において、国民が国政に関与するにつき、重要な判断の資料を提供し、国民の「知る権利」に奉仕するものであるとした。
2. 西山記者事件では、報道機関が取材の目的で公務員に対し秘密を漏示するようにそそのかす行為は、真に報道の目的からでたもので、その手段・方法が社会観念上是認されるものであっても、正当な業務行為とはいえないとした。
3. 北方ジャーナル事件では、裁判所が決定する仮処分による事前差止めは、表現物の内容の網羅的一般的な審査に基づく行政機関により行われる検閲と国民に与える影響が同等であるとして、検閲に当たるとした。
4. サンケイ新聞意見広告事件では、新聞記事で批判された者が同じ新聞に無料で反論文の掲載を求めることができる反論権の制度は、プライバシーの保護の観点から具体的な成文法の根拠がなくても認められるとした。
5. 家永教科書検定訴訟では、教科書検定における不合格図書は、一般図書としても発行できなくなるが、教科書検定は教育内容の中立・公正、一定水準の確保等による合理的で必要やむを得ないものであり、検閲には当たらないとした。

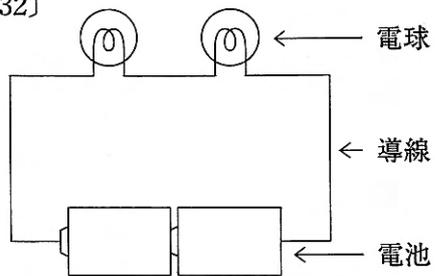
[No. 30] 国際法に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. アメリカ合衆国大統領のウィルソンは、「戦争と平和の法」を著し、自然法の立場から国際法を体系化し、「国際法の父」とよばれている。
2. 国際法は、形式面では成文国際法と平時国際法、適用面では国際慣習法と戦時国際法に分類される。
3. 国連は、国際法を統一的に立法する機関であるが、条約や協定などの国際法は国連に参加しない国に対して拘束力をもたない。
4. 国際司法裁判所は、国家間に紛争が起きた場合、当事国双方の合意がなければ、裁判を行うことができない。
5. 国際刑事裁判所は、個人の重大な犯罪を裁くために、オランダのハーグに設立されたが、日本は国際刑事裁判所の設立条約を批准していない。

[No. 31] わが国の経済指標に関する記述として、妥当なのはどれか。

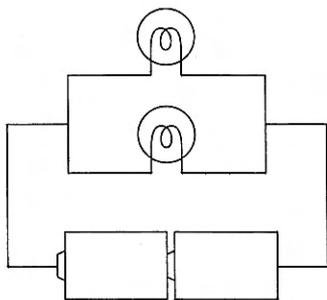
1. GNPとは国内総生産のことをいい、1年間に国内で生産された生産物の価格から原材料などの中間生産物の価格を差し引いた付加価値の総計である。
2. 国民純生産とは、GNPから環境汚染などマイナス面のコストを差し引き、余暇や家事労働を数量化して加えた指標である。
3. 物価水準の変動を含めた名目的な国内総生産の伸び率を名目経済成長率といい、物価変動を除いた実質的な国内総生産の伸び率を実質経済成長率という。
4. 日本銀行が行っている全国企業短期経済観測調査を日銀短観といい、資本金10億円以上の大企業を調査対象とし、訪問により調査を実施している。
5. 財務省が公表する景気の現況を示す景気動向指数には、景気変動の大きさやテンポを示すDI指数と各経済部門への波及度を示すCI指数がある。

[No. 32]

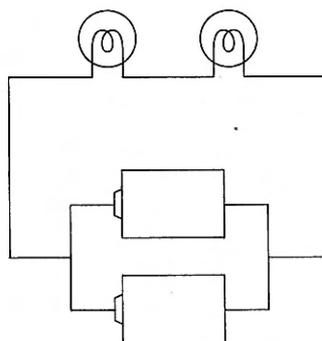


電球、導線、電池からなる左図の回路の電球と、同じ明るさで電球が光る回路として、妥当なのはどれか。ただし、各回路とも電球の規格、電池の電圧はそれぞれすべて同一であり、導線の抵抗及び電池の内部抵抗は無視する。

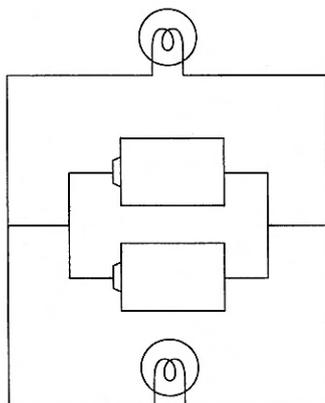
1.



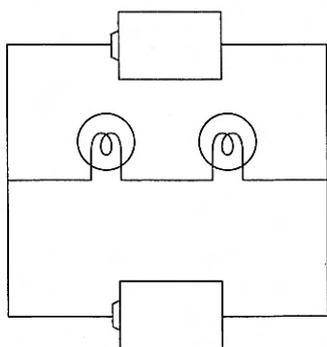
2.



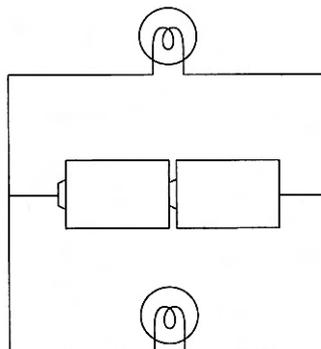
3.



4.



5.



[No. 33] 気体の性質に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 一酸化炭素は、分子式でCOと表され、炭素を含む物質が不完全燃焼すると発生し、比重が空気より小さく、人体に有害な気体である。
2. 塩素は、分子式でCl<sub>2</sub>と表され、塩素系漂白剤と中性洗剤とを混合すると発生し、比重が空気より小さく、人体に有害な気体である。
3. 硫化水素は、分子式でH<sub>2</sub>Sと表され、比重が空気より小さく、人体に有害な気体で、水溶液はアルカリ性を示す。
4. アンモニアは、分子式でNH<sub>3</sub>と表され、比重が空気より大きく、人体に有害な気体で、水溶液は酸性を示す。
5. メタンは、分子式でCH<sub>4</sub>と表され、比重が空気より大きく、人体に有害な気体で、引火・爆発を起こす危険性を有する。

[No. 34] 生体防御に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ポリオなど特定の病原体による病気を予防するために、毒性を弱めた毒素や病原体を、抗原として接種する方法を血清療法という。
2. 過剰な免疫反応によって、じんましんや花粉症などの症状が起きることを拒絶反応といい、この原因となる抗原をマクロファージという。
3. 体内に侵入した抗原と結合する抗体を生成し、抗原を無毒化することを抗原抗体反応といい、この反応のように抗体がはたらく免疫を細胞性免疫という。
4. 出血したときに、血液が凝固して傷口をふさぐことを凝集といい、凝集は血液中の白血球が血小板を分解して生成した物質のはたらきにより起こる。
5. 免疫機能に欠陥が生じた状態を免疫不全といい、免疫不全は遺伝などによる先天性のものやウイルス感染などによる後天性のものがある。

[No. 35] 地層又は地形に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 砂や泥は、流れのない水中では細かい粒子が先に沈降するので、地層の下部ほど細かい粒子の堆積がみられる。
2. 岩石は、成因によって火成岩と堆積岩の2種類に分けられ、<sup>りゅうもん</sup>流紋岩は海底に沈殿した堆積物が圧縮されて固まった堆積岩の一種である。
3. <sup>しゅう</sup>褶曲は、圧縮力により地層が波状に変形する現象であり、褶曲した地層の山にあたる部分は背斜、谷にあたる部分は向斜とよばれる。
4. 地すべりは、山の斜面の表層部分が多量の土砂や岩石とともに一気に流下する現象であり、山津波ともよばれる。
5. 三角洲は、川の流れにより河口付近の土地が三角形状に侵食されてできた地形であり、侵食が進むと海食崖<sup>かい</sup>となる。

[No. 36] 昨年8月に厚生労働省が発表した「労働経済白書」の内容に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 2009年の現金給与総額の減少率の大きさは、統計調査開始以来最大となり、現金給与総額の内訳では、所定外給与及び特別給与は大きく減少したが、所定内給与はわずかに増加したとした。
2. 従来からの製造技術を育てることは雇用創出にとって有効ではなく、新エネルギー・省エネルギー関連分野、環境関連分野などの技術・産業の発展が期待される分野が、雇用創出のためには有望であるとした。
3. 今後の企業の採用方針は、すべての企業規模において、即戦力となる人材を採用することよりも、将来成長が期待できる人材を採用することを重視する方向に動いているとした。
4. 非正規雇用の増加については、相対的に賃金の低い者を活用しようとする企業の人件費コストの抑制志向によるもので、労働者派遣事業の規制緩和による影響はないとした。
5. 雇用者の年収分布を1997年と2007年とで比較すると、年収が100万～200万円台半ばの低所得者層が増加しているが、非正規雇用の増加との関係はみられないとした。

[No. 37] 昨年10月に閣議決定された円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 本対策は、菅内閣が経済対策として初めて閣議決定したものであり、雇用・人材育成や新成長戦略の推進・加速などの5本柱で編成された。
2. 本対策の実施に伴う効果として、実質GDPの押し上げ効果は0.6%程度とし、雇用の創出・下支え効果は45万から50万人程度とした。
3. 家電エコポイント制度は対象商品を拡大するなど財源拡大を盛り込んだが、住宅エコポイント制度の拡充は財源確保の見込みがつかず見送られた。
4. 地方公共団体が公共事業財源などに使える地域活性化交付金の創設は、議論不十分として盛り込まれず、今後継続して検討していくとした。
5. 運用資産が100兆円規模に達する外国為替資金特別会計の有効活用策として、ドル資産の一部を活用した国家ファンドを創設するとした。

[No. 38] 昨年10月に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 名古屋議定書では、本議定書が発効する前に入手した生物について、かつて植民地であった途上国に限り、植民地時代に遡<sup>さかのぼ</sup>って利益配分することとした。
2. 名古屋議定書では、先進国側の主張を受け入れ、遺伝資源から得られた成分を改良した派生物は、すべて利益配分の対象であることを明記した。
3. 名古屋議定書では、締約国は、遺伝資源の不正取得について監視を行う機関を1つ以上設置することとした。
4. 愛知ターゲットでは、2020年までに生態系の損失速度を著しく減少させることとし、保全に必要な資金を10倍とする目標を明記した。
5. 愛知ターゲットでは、2020年までに陸域の20%を保護地域とするとしたが、海域については数値を示さず継続協議していくとした。

[No. 39] 昨年12月に閣議決定された平成23年度以降に係る防衛計画の大綱に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. ロシアの軍事的な動きは、我が国を含む地域の安全保障における喫緊かつ重大な不安定要素であり、地域・国際社会の懸念事項と位置づけた。
2. 今後の防衛力については、従来の「基盤的防衛力構想」によることなく、即応性、機動性、柔軟性、持続性及び多目的性を備えた動的防衛力を構築するとした。
3. 我が国の平和と安全を確保するためには、日米同盟は一定の役割を終えたことから、今後はアジア太平洋地域における多国間の安全保障協力を組み合わせてネットワーク化していくことが重要であるとした。
4. 自衛隊配備の空白地帯となっている島嶼部<sup>しよ</sup>について、自衛隊の部隊を配置することは防衛力の強化につながるが、厳しい財政事情を踏まえ、自衛隊の新たな部隊を配置しないとした。
5. 装備品の共同開発が国際的な潮流となっていることから、武器輸出三原則の見直しを検討すると明記した。

[No. 40] 本年3月に発生した東日本大震災に伴う国内外の動向に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 本震災を受けて円が高騰したことから、主要7カ国（G7）財務相・中央銀行総裁会議は3月、外国為替市場へ協調して介入することで合意した。
2. 本震災による被災者への救援活動として、震災の直後から国連が中心となって、トモダチ作戦が実施された。
3. 本震災に対し支援の申し入れがあった国・地域の総数は、主要20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議が4月に共同声明で、日本の人々との連帯意識を共有すると発表したことを受けて急増し、100の国・地域になった。
4. 本震災に伴い国際社会から受けた支援に対し、衆議院では4月に国際的支援に対する感謝決議が全会一致で採択されたが、参議院では、決議文案の調整がつかず同月中の採択が見送られた。
5. 本震災に対する日本の復興への期待として、アジア太平洋経済協力会議（APEC）は4月、共同声明で日本の経済、金融の回復力を信認すると発表した。

平成23年度 I 類A採用試験教養問題正答

NO	正答
1	3
2	5
3	3
4	5
5	2
6	3
7	3
8	3
9	5
10	2
11	4
12	1
13	1
14	2
15	3
16	5
17	5
18	1
19	1
20	4
21	4
22	2
23	5
24	4
25	4
26	1
27	2
28	2
29	1
30	4
31	3
32	3
33	1
34	5
35	3
36	3
37	2
38	3
39	2
40	1